

<ニュースリリース>

2014年4月16日
米国研究製薬工業協会

PhRMA 在日執行委員会新副委員長を発表

～ 新副委員長にブルース・グッドウィン(ヤンセンファーマ株式会社代表取締役社長)と
パトリック・ジョンソン(日本イーライリリー株式会社 代表執行役社長)が就任～

米国研究製薬工業協会(PhRMA: Pharmaceutical Research and Manufacturers of America)は、2014年4月16日付で、同協会の日本における最高意思決定組織である、在日執行委員会(JBEC: Japan-Based Executive Committee)の副委員長に、ヤンセンファーマ株式会社代表取締役社長のブルース・グッドウィン(Bruce Goodwin)と、日本イーライリリー株式会社 代表執行役社長のパトリック・ジョンソン(Patrik Jonsson)が就任したことを発表しました。

ブルース・グッドウィンは、ヤンセンおよびジョンソン・エンド・ジョンソングループ内の他事業部門におけるキャリアは30年以上、5カ国にわたり、2009年1月から2012年9月まで、ヤンセン オーストラリア・ニュージーランドをマネージングディレクターとして統括。その間、豪製薬業界団体にあたるメディスンズ・オーストラリアの役員も務め、2012年10月にヤンセンファーマ株式会社代表取締役社長に就任しました。



パトリック・ジョンソンは、1990年イーライリリー・スウェーデンに入社し、中枢神経系領域等のビジネスユニットを担当した後、1998年からはイーライリリー・ヨーロッパ(イギリス)においてマーケティング職を務めました。2001年イーライリリー・スウェーデンの社長に就任し、2008年にはイーライリリー・イタリアの社長に就任するなどヨーロッパ各国で要職を歴任したあと、2014年1月に日本イーライリリー株式会社代表執行役社長に就任しました。



● 米国研究製薬工業協会 (PhRMA)

PhRMA は、米国で事業を行なっている主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者さんがより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する 2012 年の投資額は約 485 億ドルで、これは加盟企業総売上高の 20.7%にあたります。また、米国における R&D 投資総額の 21%が製薬業界によるものです。

● 米国研究製薬工業協会 (PhRMA) 東京オフィス

PhRMA 東京オフィスは、米国の研究開発志向型製薬企業の日本法人で構成されており、画期的新薬が開発できる環境や患者さん中心の医療制度の確立に向けて 25 年以上に渡って活動を続けています。加盟企業は、アステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社、アツヴィ合同会社、MSD 株式会社、セルジーン株式会社、日本イーライリリー株式会社、バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社、ファイザー株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社、ムンディファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社 (五十音順) の 10 社です。

- PhRMA 東京オフィスホームページ <http://www.phrma-jp.org>
- PhRMA ホームページ <http://www.phrma.org>

【本件に関するお問い合わせ】

米国研究製薬工業協会 (PhRMA) 広報事務局
(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL: 03-3291-0118

FAX: 03-3291-0223

E-mail: phrma_pr@jc-inc.co.jp

担当: 村田/青木

〒101-0065 東京都千代田区西神田1-3-6 ウエタケビル4F